

目からウロコの製品活用術 今更聞けない PC の選び方

ノートパソコン編 その②

皆さんこんにちは！前回に引き続きパソコンの選び方を解説します。今回は、CPU について解説します。少し専門用語が多くなりますが、できるだけわかりやすく解説いたしますのでお付き合い下さい。下記にいくつか具体的な CPU 名称を上げてみます。

CPU 名称	主な特徴
インテル Core Duo プロセッサ	デュアルコアを採用した高性能 CPU。 Pentium M の後継 CPU。
インテル Core Solo プロセッサ	Core Duo の派生 CPU。Core Duo と違いシングルコア。
インテル Pentium M プロセッサ	薄型軽量ノート PC 用で低電力。クロック周波数は低いが、高性能。表示クロック周波数に約+1.0 足した値をもつデスクトップの CPU に匹敵。
インテル Celeron M プロセッサ	薄型軽量ノート PC 用でさらなる低電圧。低価格。クロック周波数は低いが、理由は Pentium M と同等。
モバイル インテル Celeron プロセッサ	デスクトップ用をノート用にしたもの。低価格。

ノートパソコンは、高性能な CPU を選んでも発熱量や消費電力が問題になるので選択が難しいです。Pentium M や Celeron M など、ノートのために開発された CPU を選べば間違いはありません。今後最新の CPU である **Core Duo** を搭載したノートパソコンが増えていくと思います。

ノートパソコンを外出先で利用する場合には、バッテリーで何時間駆動させることができるかが大きなポイントになります。そうすると、低電圧で動く CPU が必要になってくるわけです。CPU 名称のまえに**低電圧**または**超低電圧**と書かれたものがありますが、これがお勧めになります。

パソコンに負荷がかかる PC ゲームや動画編集、画像編集を頻繁に行いたい。Excel や Word をいくつも開いて連携させながら資料を作成するなど、**パソコンを仕事にフル活動させたいのであれば、Pentium M 系か Core Duo 系の高スペック CPU を選ぶとよいでしょう。**ただし、予算もある程度考えておく必要があります。

低価格でノートパソコンを買いきたいのであれば、Celeron 系か Sempron 系の低価格 CPU を選ぶとパソコン全体の価格を抑えられます。性能は他の上位のもの比べると低いです。ワープロソフトやインターネット、メールなどに使用するのが目的であり、動画の編集や PC ゲームなどパソコンに負荷がかかる操作をしないのであれば十分快適に使えます。

CPU の性能の判断にはクロック周波数（動作周波数）を見ます。これが大きいほど一定時間のパソコンの処理能力が高いです。

特に Pentium M と Celeron M は表示されているクロック周波数に約+1.0 足して比べると目安になると思います。次回に続く



IT活用アドバイザー
菊池 信寿

*この「あい通信」は、当社で販売している**富士ゼロックス製品の複合機**（コピー・FAX・プリンター）DocuCentre-II C4300 で印刷しています。